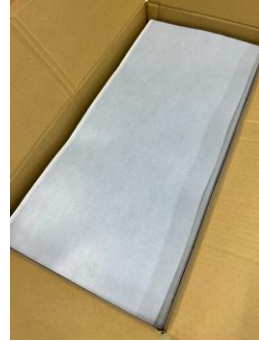
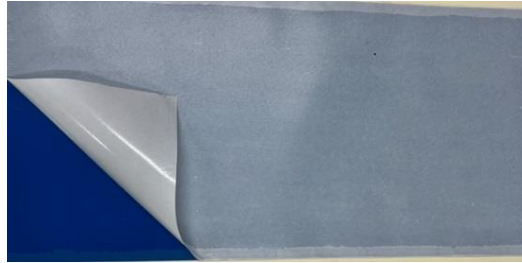


商品名：『ハエトール』



## 本製品の特長

- 特長
- ①屋外に設置できるように**台紙がビニール製**で雨水も問題なし  
台紙が紙製の場合は屋外の使用には向きません
  - ②10日間程度は粘着力を維持
  - ③両面に粘着剤が設置されているため、捕獲量が多い
  - ④30cm x 60cmと面積が広い
  - ⑤定期的に交換していただくために、「**とにかく安価**」
  - ⑥両面（もしくは片面）の剥離紙をはがして貼るだけ

## 安全

- 安全
- ①粘着剤には殺虫成分などは含まれておりません。
  - ②保管の際や設置した際は子供やペットが触らないように注意してください。



\*価格はお問い合わせください\*

## サシバエってなんで悪いの？

### 影響

- ①ストレス  
ー痛みやかゆみを伴い、**食事量が減少し成長が停滞**することもある。  
ー乳牛の場合などは**乳の出る量にも影響**を及ぼすことがある。
- ②感染症  
ー牛白血病やサルモネラ症などの感染症を媒介することもある。感染牛を吸血したあと針先に感染血液が付着した状態で他の牛を吸血した場合、感染する確率は増大する。



## 対策ってどうするの？

### 対策

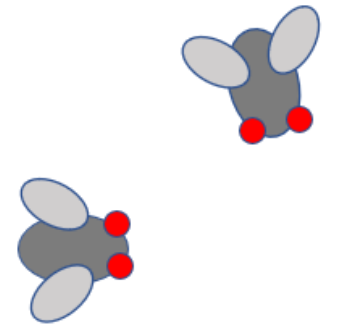
- ①根本的な対策としては畜舎の徹底的な清掃が望ましい（発生源を断つ！）  
糞便と残餌を定期的に清掃し、薬剤などの散布で**根源を断つ**
- ②防虫剤などが入ったネットや目の細かいメッシュのネットなどで畜舎を覆い、侵入を防ぐ
- ③送風ファンなどで体に寄り付きにくくする
- ④**ハエ取り紙などを設置する**

設備費や労力が…

中にいるサシバエが出ないのでは…  
風の通りが悪くなりそう…



「根源を断つ！」か「発生したハエの駆除！」



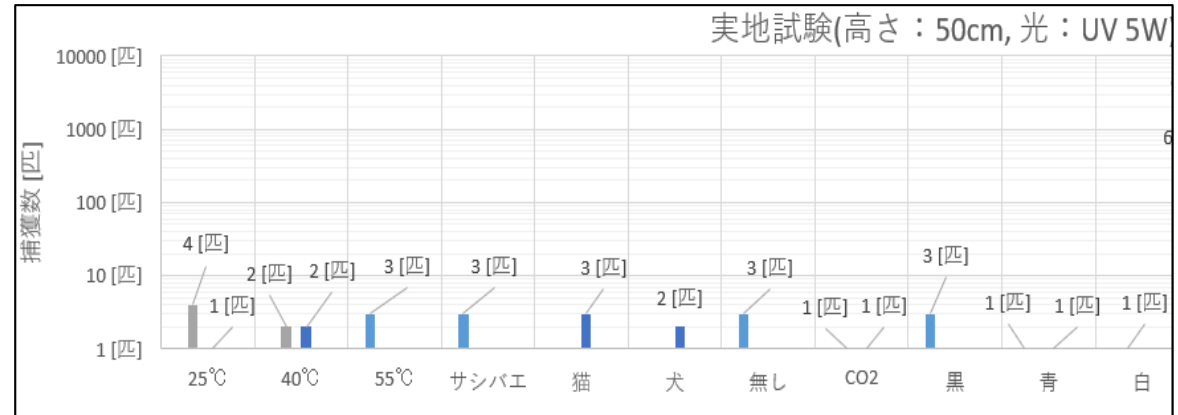
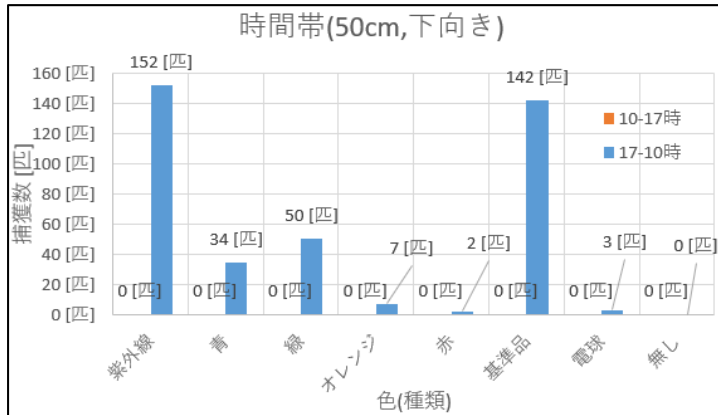
# サシバエ、アブ、普通のハエ、コバエなどを捕獲

社内実験：下記の項目について2021年10月～2022年6月まで実験を行ってきました。

- ①一番多く集まるLEDの色（波長）は何か？
- ②ハエ取り紙の色の差で捕獲量の変化はあるか？
- ③ハエ取り紙の温度で捕獲量の差はあるか？
- ④匂い（誘引剤）の効果の差

サシバエ	アブ	普通のハエ	コバエ	蛾など
—	—	—	—	○
—	—	—	—	—
△	—	○	—	—
—	—	○	△	—

\* 紫外線領域で蛾などを捕獲  
 \* 多少の差はあるが有意差なし  
 \* 30～35度で普通のハエには効果あり  
 \* 普通のハエには効果大



実験結果： サシバエにはLEDの波長の差、色の違い、匂い（誘引剤）、捕獲紙の温度差によって、捕獲量に大きな差はありませんでした💧

ではどうすれば…



# 『ハエトールの実験』

サシバエは日当たりの良いところ、畜舎と草むらとの間にトラップを設置！

社内実験：軒下と草むらでの捕獲量の差（2022年6月20日～28日 8日間設置後）



捕獲量『少』



【設置場所：軒先】

捕獲量『多』（片面約700匹捕獲し、約90%がサシバエでした）



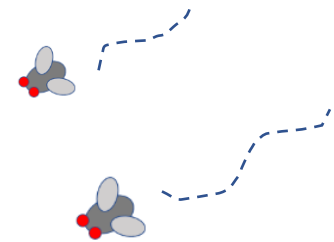
【設置場所：草むら表面】

【草むら裏面】

（注：色の差がありますがハエ取り紙は同じものです）



サシバエは牛舎と  
草むらを行き来する



屋外に設置し全体数を減らす！！



## 設置方法 & 設置場所！

### 【組立】

①門型のアルミフレームを組み立てます（別途説明書あり）

②ハエ取りシートをアルミフレームに取り付けます。

例1 A、フレームの縦横4か所に10cm程度の両面テープを貼る。

B、ハエ取りシートの片側の剥離紙を剥がす。

C、剥がした面をフレームに貼り付ける。

D、反対面の残っている剥離紙を剥がす。

例2 A、ハエ取りシートの片側の剥離紙を剥がす。

B、剥がした面をフレームに貼り付ける。

C、反対面の残っている剥離紙を剥がす。

D、クリップや洗濯バサミなどでフレームとシートを固定する。

\*剥離紙を剥がす際や交換する際は毒性はありませんが  
粘着剤が体や髪につかないように十分注意しながら作業を行ってください。

### 【設置】

①ブロックなどを準備し、フレームをブロックの穴を利用して立てる。

ブロックの穴とフレームの間隙は小石、木片などで埋めてフレームが動かないように固定することをお勧めします。

②3～5m程度に設置することをお勧めします。捕獲量を確認しながら最適な間隔で設置してください。

**設置場所は牛舎と草むら（山など）の中間あたりに設置してください。**

### 【交換】

①交換頻度の目安は3～7日程度をお勧めします。

捕獲量を確認しながら適宜交換してください。

